

関係機関の長 殿
関係学部等の長 殿

東京大学地震研究所長
小原 一成 (公印省略)

教員の公募について

このたび、当研究所では下記の要領で教員を公募いたします。
つきましては、関係各位に広くお知らせいただき、適任者の推薦および応募について、よろしくお取り計らいくださるようお願いいたします。

記

1. 公募人員： 准教授 1 名
2. 所属： 採用後に決定する。但し、地震火山史料連携機構との兼任とする。
3. 研究分野： 歴史地震研究分野
東京大学は、地震研究所と史料編纂所との連携の下、地震火山史料連携研究機構を平成 29 年度に設置した。この研究機構では、日本史研究者と地震・火山学研究者が協力して史料の収集と分析を行い、日本における地震活動や火山活動の長期的な情報を提供できる科学的なデータベースを構築するとともに、若手人材の育成も含めた文理融合の学際的な研究を行っている。具体的には、過去の大地震や火山噴火についての史料を解読して確度と精度の高い情報を抽出し、それらから地震学や火山学の知見を用いて大地震や火山噴火を科学的に分析するとともに、大地震や火山噴火が社会に与えた影響などの研究を実施する。本公募では、これらのいずれかの分野の研究実績を有し、今後はこれらを融合して行う機構の研究を中核となって推進する人材を募集する。この人材は地震研究所に所属するが、地震火山史料連携研究機構に兼任して歴史地震研究分野の発展に貢献することに加え、研究活動および大学院教育を通じて、次世代の人材育成に貢献することが期待される。
4. 採用予定時期： 採用決定後のできるだけ早い時期
5. 応募資格： 博士の学位を有する者（外国での同等の学位を含む）
6. 任期について： 任期は平成 35 年 3 月 31 日までとする。但し、任期満了の半年前までに在任中の業績等に基づき任期を付さないポストへの異動の可否を審査し、審査において可となれば、任期を付さないポストに異動できる。その際には、地震研究所の教員の任期に関する内規に従い、満 55 歳を超える教員については、次年度の初めに教員の所属する組織（分野）の職に 5 年以内の任期を定める。その後の再任は地震研究所教授会の承認を得た場合に 1 回限り可とする（ただし、東京大学教員の就業に関する規程に定めるところの定年による退職の日を超えることはできない）。なお、詳細については、問い合わせ先に照会のこと。
7. 提出書類：【提出書類は返却しません】
 - (1) 東京大学統一履歴書(本学様式を http://www.u-tokyo.ac.jp/per01/r01_j.html よりダウンロードのうえ使用してください。記入例は「記入例 7 [理系教員] を参照」)
 - (2) 業績リスト（査読の有無を区別すること。投稿中の論文も含む。）
 - (3) 主要論文の別刷り 3 編程度（コピー可）
 - (4) 研究業績・教育実績の概要（2000 字程度）
 - (5) 今後の研究計画（人材育成・大学院教育についての抱負・計画も含む）（2000 字程度）
 - (6) 応募者について参考意見をうかがえる方(2 名)の氏名と連絡先と E-mail アドレス
8. 応募締切： 平成 30 年 1 月 22 日（月） 午後 5 時 必着

9. 問い合わせ先： 東京大学地震研究所 観測開発基盤センター 森田 裕一
TEL: (03) 5841-5704 E-mail: morita@eri.u-tokyo.ac.jp

10. 応募書類提出先：

〒113-0032 東京都文京区弥生 1-1-1

東京大学地震研究所 庶務チーム（人事）宛

封書を用い、表に「**歴史地震研究分野 准教授 応募書類在中**」と朱書し、
書留郵便で送付してください。

◎ 東京大学は2009年3月3日「**男女共同参画加速のための宣言**」を發表しました。
この宣言に基づき、教員・研究員の公募の際に、女性の応募を歓迎します。

